



経歴

1980年 広島県安芸郡府中町生まれ
2007年 WBA世界フライ級王座獲得【防衛4回】
2011年 稲城市議会議員初当選
2015年 稲城市議会委員2期目当選
専修大学商学部マーケティング学科二部 卒業
家族 妻と子ども3人

年頭のごあいさつ

寒中お見舞い申し上げます。皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年5月の議会改選において、引き続き総務委員長を拝命しました。一方で、一部事務組合では、多摩川衛生組合の監査委員から南多摩斎場組合の監査委員へと、新たなスタートを切った一年となりました。今年も市民の皆さまのくらしの向上に向けて、尽力して参ります。

12月市議会での提案

1. 「子育て安心プラン」ってなに？

課題 昨年6月に国が発表した「子育て安心プラン」は、平成30年度から平成31年度末までの2年間で待機児童を解消することを目標に掲げ、遅くとも平成32年度末までの3年間で待機児童を確実に解消するとしています。また、平成34年度末の女性就業率を80%とする目標を掲げています。

坂田たけふみの応え！

「子育て安心プラン」に市がどのように対応するかを福祉部に確認し、平成33年度当初までに待機児童を解消するため、以下の回答を得ました。

- (1) 0歳児から2歳児までは、仕事や病気などにより保育ができない保護者の代わりに子どもを自宅で預かる保育者（保育ママ）の増員や認可保育所の整備により対応します。
- (2) その児童が3歳児になったら、保育所の整備により対応します。
- (3) 女性の就業率が増えることを見込んで、保育所整備を見直します。



▲親子ボクシング教室にて（H29年8月）
初めての方も楽しんでいただけました。



▲稲城市防災訓練にて（H29年11月）多くの
方が参加され、防災意識の高さが伺えます。

2. 地域のみならずスポーツでもっとつながりたい！

課題 地区対抗の運動会のような、地区間の交流を促すスポーツイベントを開催するには、市内の各スポーツ団体が協力することが不可欠です。

坂田たけふみの応え！

地域コミュニティの活性化につながるスポーツイベントを開催するため、市内の各スポーツ団体が協力する体制づくりを教育部体育課に求めました。

→市が主体となって、東京ヴェルディをはじめとしたプロスポーツ団体を含め、市内の各スポーツ団体の協力を得ることにより、地区対抗の新たなスポーツイベントを開催するよう取り組むとの回答を得ました。

3. 民泊のルールを定めた新法って、なに？

課題 2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック時の宿泊施設不足を解消するため、今年6月に住宅宿泊事業法（民泊新法）が施行されます。都心部では民泊新法の施行に向けて、民泊事業に参入する民間事業者が増えています。今後は市内でも、民泊を巡るゴミや騒音、見知らぬ人への不安等の苦情が寄せられるといった新たな問題が生じることが予測されます。

坂田たけふみの応え

市内でも民泊事業への参入意欲を見せる事業者が現れています。

また、空き家の増加に伴い、賃貸物件のオーナー等が空き物件を民泊事業者を提供するといったケースが増加する可能性があり、民泊を巡る新たな問題が生じることが予測されます。

→事業者、宿泊者、市内住民の相互が気持ちよく生活するため、都としっかりと情報共有し、民泊事業が本格化する前に、市が対策を整備するよう求めました。今後も市の動向を注視して参ります。



▲多摩川衛生組合の例月出納検査にて（H29年1月） 毎月現場監査を行います。



▲百村妙見寺の蛇より行事にて（H29年8月） 蛇よりのコツが段々わかってきました。